

祭事暦

12月1日・20日 午前8時30分
 月次祭
 12月14日 午前8時30分
 煤拂祭
 12月23日 午前10時
 天長祭
 12月31日 午後1時
 師走大被褥引き
 除夜式



発行所
 寒川神社社務所

〒253-0195
 神奈川県
 高座郡寒川町宮山3916
 電話 代表0467(75)0004

編集者 水谷 智賢
 責任者
 印刷所 樹さんこうどう



鎮守の森

平成二十二年も師走月をむかえ残りわずかとなりましたが本年も寒川神社では、さまざまな企業や法人、沢山の皆様にご参拝を頂きました。参拝の方法や時期、回数等は各社、各人それぞれ違いますが、そもそも何故参拝をするのでしょうか？古来より日本人は心情として溢れる「大和心」を誰しもが持っていました。現在では薄れゆくこの「大和心」を我が心身で感じ取り、「心」の充電をし、自身の安らぎや癒しを得る為に参拝されるのでは？

「大和心」が何であるかを、辞書等で調べますと「日本人らしい自然ですな心」とあり、日本民族固有の精神や日本人としての意識を表します。敷島の 大和心を 人間はば

朝日に匂ふ 山桜花

と江戸後期の国学者本居宣長が見事にうたいあげており、先般、明治天皇が渙発されてより百二十年を迎えた「教育勅語」に凝縮されています。さて、神社のお参りは、初詣が一般的ですが、正五九詣りと云い正月・五月・九月に参拝される方も大勢いらっしゃいます。何故、正五九月でしょうか？

陰暦で正月、五月、九月は忌むべき月とされており、結婚などの慶事を避け、わが身を清める為に神社仏閣などへ挙って参拝をする慣わしでした。毎日お参りする人、毎月お参りする人、正五九月にお参りする人、初詣だけの人、とさまざまですが、平成二十三年からは皆様も初詣に限らず先人の知恵、正五九詣りを始めて大和心を常に戴いてみてはどうでしょうか。(水)



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
 第六十二回神宮式年遷宮

新嘗祭 齋行

篤志奉納者を表彰

十一月二十三日、勤労感謝の日に役員・総代・氏子崇敬者多数参列のもと、新嘗祭が厳粛に肅行されました。この祭典は今年の五穀豊穰・産業の振興に感謝申し上げる祭典で、当日は、新穀・白酒・農作物・餅・菓子・花等のお供え物が御神前に所狭しと奉納され、神の恵に誠の感謝を捧げると共に、皇室の御安泰、崇敬者各位の更なる弥栄が祈念



されました。祭典終了後には参集殿に於いて篤志奉納者の表彰式が行われ、感謝状と記念品が贈呈されました。



篤志奉納者芳名

- ◆ 宇井 胡 扇 殿
 - ◆ 横浜貨物総合株式会社
佐藤 俊 哉 殿
 - ◆ 安川 昌 子 殿
 - ◆ 湘南ビューティカルチュア
本田 昌 子 殿
- (順不同)

第四十三回

菊花・写真展開催

本年四十三回目を迎えました菊花・写真展が、十一月十日より二十三日にかけて開催されました。菊花展の審査長に尾崎元彦氏、また副審査長に遠藤吉和氏、そして写真展の審査長を伊奈喜久雄氏にそれぞれお願いし、厳正なる審査の結果、次の方々が入賞され新嘗祭に併せて表彰式が執り行われました。

菊花展入賞者

(敬称略)

- 寒川神社司賞
厚物「太平の銀峰」
佐野 多昭
- 神社本庁統理賞
太管「泉郷情熱」
梶 俊一
- 厚物の部
金賞 三橋 太一
銀賞 岡田 秀麿
銅賞 鴨志田 信子
寒川町長賞 水島 進
寒川ロータリークラブ
会長賞 小峰 勝子
横浜銀行茅ヶ崎支店賞
岩本 茂
湘南信用金庫寒川支店賞
内藤 俊雄
寒川町観光協会賞
石田 眞臣
三井住友銀行藤沢法人
営業部賞 中野 信義
三昭グループ賞 阿諏訪 豊



【菊花展 宮司賞】

- 三昭グループ賞 富永 英雄
熊澤酒造賞 高屋敷敏継
ニッポン放送賞 伊藤 勉
ニッポン放送賞 小室 久次
FMヨコハマ賞 大城 征治
TBSラジオ賞 大城 征治
入選
小室 久次
秋山 弘
高津 有二
榎田 忍
二宮 和昭
大出 進
高屋敷敏継
- 富永 英雄
高屋敷敏継
伊藤 勉
小室 久次
大城 征治
大城 征治
内藤 俊雄
三橋 太一
池田 哲男
半谷 昭雄
柳下 愛子
柳澤 芳夫
梶 俊一

厚走の部

- 金賞 小峰 勝子
- 銀賞 清田 美躬
- 銅賞 鴨志田 信子
- 寒川町議会議長賞 清田 美躬
- 三井住友銀行藤沢法人
営業部賞 秋山 美好
FMヨコハマ賞 榎田 忍
- 入選 渡辺 要治

太管の部

- 金賞 岩本 茂
- 銀賞 後藤 勉
- 銅賞 井上 幸尾
- さがみ農協寒川地区賞 富永 英雄
- ニッポン放送賞 小川 敏幸
- TBSラジオ賞 柳澤 芳夫
- 入選 大貫 一義

間管の部

- 金賞 杉崎 松勇
- 銀賞 富永 英雄
- 銅賞 大城 征治
- 郵便事業株寒川支店長賞 田島喜久馬

明治祭齋行

現在では、日本国憲法公布を記念し、自由と平和を愛し、文化を薦める祭日『文化の日』として広く国民に親しまれている十一月三日は、近代日本、文明開化の輝かしい時代の礎を築かれた、明治天皇の御生誕の日で、戦前は『明治節』と呼ばれ、明治天皇を寿ぎ偲ぶ日でありました。

この日、寒川神社においてもその聖徳大業を仰ぎ、皇室の弥栄と国家国民の繁



栄を祈念する「明治祭」が厳肅に齋行されました。

御本殿御造営竣工十周年記念事業 御本殿周辺整備事業奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

【平成二十二年十月奉賛者】（順不同・敬称略）

- | | | | |
|-----|----|------|---------|
| 十万円 | 岩壽 | 金壽 | 東京都武蔵野市 |
| 三万円 | 一場 | 茂 | 寒川町宮山 |
| 二万円 | 山田 | 一也 | 原木市妻田北 |
| 〃 | 原田 | 誠 | 横浜市中区 |
| 〃 | 伊ノ | 「改善」 | 東京都渋谷区 |

神宮大麻暦 頒布始まる

神奈川県神社庁相模湖南支部の神宮大麻暦頒布始奉告祭が、十一月十二日に当神社本殿にて執行されました。我が国では、新年を迎えるにあたり、神棚に祀る神宮大麻と氏神様を新たにし、来る年が何事も無く、健やかな生活が営めるよう祈る歳神の信仰があります。大御神様の神霊が宿る神宮大麻を神棚におまつりし、清々しい新年をお迎え致しましょう。



今日の祭事

煤 拂 祭

十二月十四日 午前八時三十分
一年間の塵や埃を拂い清め、新年を迎える師走恒例の行事が行われます。

御神前にて奉告祭が執行された後、御本殿をはじめ神門・手水舎等すべての建物が拂われます。



天 長 祭

十二月二十三日 午前十時
天皇陛下の御誕生日をお祝いする天長祭が齋行されます。

当日は役員・総代をはじめ多くの方々ご参列し、天皇陛下のご長寿また皇室の弥栄が祈念されます。

師走大被式並除夜祭

十二月三十一日 午後一時
一年の最後の祭典、師走の大被式並びに除夜祭が執り行われます。

半年間の罪穢れを人形に託し被いやる大被神事が境内外庭にて行われ、ご参列者また全国より郵送で送られた人形が被い清められます。

尚、当日午後一時より行われます大被神事は、どなたでもご参列いただけます。また当日お越しになれない方には、お申し込みのご案内をお送り致しますのでご連絡下さい。



連載

遷宮講座



國學院大學
神道文化学部教授
神道学博士

なかにし まさゆき
中西正幸

第二十回 明治新政と遷宮

一、官制公布

第五十六回の式年遷宮が間近かに迫った十二月、勅令をもって造神宮使庁の官制が公布された。使庁とは内務大臣の監督下、殿舎造営や神宝調製など、遷宮事業の全般を取りしきるため、内務省内に置かれた常設機関であり、王朝の盛時にまさる偉観を示していた。

首条に「造神宮使庁ハ内務大臣ノ管理ニ属シ、新宮造営及神宝装束調達ノ事ヲ主掌ス」と大筆して、造神宮使のもと、遷宮事業を推進していく体制が整った。特に古代には神宝使が御装束・神宝の奉製を担当したが、それが使に所属するに至ったことは忘れがたい重要なことであった。二十二年に廻りきた第五十六回遷宮は、新政府が初めて取り組んだ御儀であった。

およそ十年後の三十三年五月、内宮の正殿が炎上する由々しい事態となり、翌月には仮殿遷座が行なわれた。その三日後に官制の大幅な改

正があり、御装束・神宝、さらに御金物において、技術系統の技師・技手を追加して充実を期したものである。

二、深遠な聖慮

文明開化の荒波がよせ来たり、洋化・欧風が持て囃される世相にあつて、神宮の造営方法にも幾多の批判が起こった。式年毎に膨大な森林資源を浪費する遷宮制度そのものが、開

化的な志向からは捨て置きたい事柄であった。論議はやがて天皇の叡聞にも達したが、やがて深遠な展望をもった計画が明らかにされた。「祖宗建国の姿、つまり天照大御神や神武天皇がわが国を建国・発展させた姿を、伊勢の宮居に偲ぶため、二十年毎の遷宮方式は不可欠である。『明治天皇記』に明らかな通り、三十一年に木曾山に「神宮御造営備林」を設定になり、御用材の不安を永遠に拭い去ることができたのである。

また御装束・神宝の再吟味に着手したが、未だ四十四年の第五十七回遷宮では為すところが

官報

第千三百五拾號

明治二十年十二月二十七日 大曜日 内閣官報局

勅令

造神宮使庁ノ官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御届

明治二十年十二月二十五日

内閣総理大臣 伊藤博文
内務大臣 伯耆山縣有朋

勅令第六十八號

造神宮使庁官制

第一條 造神宮使庁ハ内務大臣ノ管理ニ屬シ、新宮造営及神寶装束調達ノ事ヲ主掌ス

第二條 造神宮使庁ニ左ノ職員ヲ置ク

造神宮使

造神宮副使

造神宮主事

造神宮職

第三條 造神宮使ハ一人聘任トシ、神宮祭主ヲ以テ之ニ尤テ内務大臣ノ相謀ニ當リ、事務ヲ管理ス

第四條 造神宮副使ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ副官トシ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第五條 造神宮主事ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第六條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第七條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第八條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第九條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第十條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第十一條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第十二條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第十三條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第十四條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第十五條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第十六條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第十七條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第十八條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第十九條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第二十條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第二十一條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第二十二條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第二十三條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第二十四條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第二十五條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第二十六條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第二十七條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第二十八條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第二十九條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第三十條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第三十一條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第三十二條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第三十三條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

第三十四條 造神宮職ハ内務大臣ノ命ヲ受テ、造神宮使ノ事務ヲ代理ス

なかつた。大正時代になると関東大震災に見舞われ、折角努力してきた使庁も、再び活動を始めるには容易なことでは無かつた。その成果は昭和四年の第五十八回遷宮に遺憾なく発揮されたのである。

このように明治二年に第五十五回の式年遷宮が斎行されたが、天皇には二年・二十二年・四十二年と、三回の御儀を斎行なされた。殊に二十二年に造神宮使庁の官制公布にともない、その後の遷宮毎に偉観を増していった。しかも臨時・仮殿を加えれば七回におよび、いかに天皇にとつて遷宮に格別な思召であられたか察せられよう。

今年の主な出来事

利根宮司就任披露開催

平成二十二年十二月一日付にて、利根康教氏は寒川神社第二十七代宮司に就任致しました。この慶事を祝しまして、四月十九日、就任披露の会がロワジールホテル厚木にて催されました。



当日は、神社本庁顧問矢田部正巳様をはじめ、全国の神社関係者、國學院大学の同級生、旧職員の皆様に参加賜わり、ご祝辞や励ましの言葉を頂いた他、思い出話に花が咲くなど、終始和やかで華やかな雰囲気になりました。



二の鳥居改修される

建立後四十余年が経ち老朽化が進んでいた、二の鳥居の改修が行われました。



鳥居の補強としては日本初の工法を取り入れたこの工事は、予定通り作業が進み、七月十二日竣工を迎えました。白く蘇えった二の鳥居は、新年、お参りされる大勢の方々を清々しくお迎え申し上げます。

平和の塔「和光」移設

—— 平和祈願祭執行 ——

永遠なる平和を誓い、宮山住民の総意で建立された平和の塔「和光」は、宮山神社の境内に移設されました。この切なる願いを後世に伝えるべく、八月十五日の正午、移設された後初めて平和祈願祭が塔の前にて執行され、戦没者に慰霊の黙祷を捧げ、世界平和を強く祈願致しました。



天皇皇后両陛下下幣饌料御下賜 奉告祭並記念植樹

五月二十三日、第六十一回全国植樹祭が南足柄市と秦野市にて開催されました。

天皇皇后両陛下にあられましては、この植樹祭に御臨席になられ、天皇陛下におかれましては、ケヤキ・スギ・クヌギをお手植、ブナ・スタジイをお手播され、皇后陛下におかれましては、ヤマザクラ・イロハモミジ・シラカシをお手植、コブシ・ヤブツバキをお手播になられました。

そのみぎり、二十二日午後三



時三十分より、湯本富士屋ホテルに於いて幣饌料御下賜伝達式が行われ、利根宮司が参向、拝領いたしすぐに帰社、本殿へ奉安いたしました。

当神社では、六月一日午前八時三十分、月次祭に併せ御本殿にて幣饌料御下賜奉告祭並記念植樹奉告祭を斎行いたしました。

祭典終了後、参道東側に設けられた植樹場所にて、神社庁配布のスタジイ、神奈川県神道青年会配布のウラジロハコヤナギの苗木の他、クヌギ・コブシの若木を用意し植樹いたしました。

神嶽山神苑 県建築コンクールにて入賞する

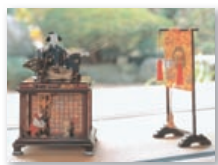
創ろう平成の文化財を合言葉に、伝統建築手法の粹



を集め施工された、神嶽山神苑内にある、「直心庵」「方徳資料館」「和楽亭」が、池泉回遊式庭園における建物群と庭が一体となつて調和している点などが評価され、県内にある優れた建

細川半蔵とからくり展開催

当神社所蔵の「三通儀」が現存唯一の細川半蔵自作の物である事が判明した事と、方



徳資料館開館一周年を記念して、特別展「細川半蔵と天文・からくり展」が開催されました。

物を選出する「第十五回神奈川建築コンクール」で優秀賞に選出されました。



客殿特設会場では貴重な天文学資料が展示からくり人形の実演も行われました。



◆ 教育勅語渙発百二十周年

— 記念祭・式典講演会開かれる —

今年の十月三十一日は、教育勅語が渙発されてより丁度百二十年目を迎える記念の日となりました。

昨今は、徳育の欠如により低年齢層の凶悪犯罪や親殺し、子殺し等、様々なモラルハザード現象が引き起こされています。

教育勅語には、孝行・友愛・博愛・遵法等、古今東西を問わず守らなければならない普遍的な精神が記されています。

当社では、この節目で



ある今年こそ、教育勅語を改めて読み、考え直す機会と考え、渙発された日に、記念祭を中祭式にて斎行し式典を執り行い、教育勅語を全員で奉読、講演会を開催致しました。

講演講師には、國學院大學教授大原康男先生をお招きし、教育基本法と教育勅語は短期間だが共存していた事、明治でも徳育軽視があり、憂慮された明治天皇の意を受けて作製された事、宗教・哲学・政治的色彩を帯びない様考えられた事、



< 教育勅語を全員で奉読する >

君主の一方的訓諭ではない事、外国人に共感と称賛されている事、事実だけをそのまま伝えれば若者でも素直に理解してもらえ、事を熱心に語って頂きました。

教育勅語が、今後の教育の道標となり、示された精神が青少年に伝わっていく事を願うばかりです。



◆ 神奈川県神社庁相模湘南支部 教養研修会開催

相模湘南支部主催の神職教養研修会が、講師に神宮参事、河合真如氏をお招きし開催されました。

先生は元々科学を専攻されており、神話は科学的に実証ができ、神話が現代に生き続けているのが神宮である事、又、式年遷宮が持つ重要な役割について等、様々な事例を挙げ、解り易く解説して頂きました。



◆ 寒河江市市長・議会議長参拝される

姉妹都市締結二十周年を記念

さくらんぼで有名な寒河江市と寒川町は、姉妹都市を締結しており、年々活発に交流していますが、今年で目出度く締結二十周年を迎え、これを機に、寒河江市市長佐藤洋樹氏と議会議長高橋勝文氏が来町される運びとなりました。

当日は、当社にも参拝頂く事となり、正式参拝の後、神嶽山神苑を散策なされました。



◆青少年活動だより



寒川神社少年館

——秋のハイキング実施——

十月二十四日、恒例の秋のハイキングを行いました。今年のテーマは「公共マナーを学んで、守って、楽



「しもつ」です。少年館としては久しぶりの、電車を使っての移動、電車に乗り遅れたり、帽子が線路に落ちたりと様々なトラブルを乗り越え、目的

少年剣士よたくましくあれ

十一月十四日、少年館の剣士十六名が寒川町武道フェスティバルに参戦しました。

「エイツ、エイツ、オー」と気合充分！縦横無尽の大活躍!!と迄はいきませんでした。宮崎隼君と村田耕二郎君が見事敢闘賞に輝きました。

剣士よ！館生よ！ますますたくましくあれ！



地である辻堂海浜公園に到着しました。

その後は、交通展示館で電車のシミュレーターを体験したり、スパーライダーに乗り楽しみました。

午後からは、交通公園にて、スカイサイクルやゴーカートに乗りながら交通ルールを学びました。

ちょっぴり先生に怒られました。楽しい一日となりました。



B S 寒川第二団

——入隊式・上進式実施——

鎮守の森の秋が深まる中、ボーイスカウト寒川第二団ではカブ・ボーイ・ベンチャー各隊にて入隊式・上進式が行われました。

十月二十四日に行われたカブ隊の入隊式では、三名が仲間入りを果たし、憧れの制服に身を包んだ新入スカウト達は元気いっぱい活動をしていました。

ボーイ・ベンチャー隊の上進式は十一月七日に合同で行われました。ボーイ隊には八名が上進しました。わんぱく八人組のこれから



の活躍が楽しみです。わが団の精鋭部隊ベンチャー隊には三名が上進しました。ベテランスカウトとして頼もしい限りです。そしてこの日、ベンチャー隊の中澤大輝スカウトに栄えある神道賞が授与されました。弥栄！新体制でスタートした寒川第二団、来年も元気に活動していきます。



423

健康手帳

結膜炎



宗教法人 寒川神社 寒川病院

眼科医長 木勢 由利子

結膜炎には細菌やウイルスが原因で起こる感染性のものと、花粉など様々な原因で起こるアレルギー性のものと、大きく分けて二種類があります。

細菌性結膜炎の主な症状は充血と眼脂で、小児や高齢者に多く、たいていは一週間以内に抗生剤の点眼薬で治癒します。

ウイルス性結膜炎はより強い充血、眼脂を認め、時に角膜に傷を作り痛みや異物感、かすみ感を伴い、治癒には二〜三週間かかります。これらの感染性結膜炎は細菌やウイルスが付着する事により発症するので、感染予防が重要です。飛沫、空気感染はしないと考えられていますので、外出から帰宅後は良く手を洗い、普段からむやみと目を触らないよう習慣づけることが大

切です。

一方、アレルギー性結膜炎は感染ではなく、何かの原因で結膜にアレルギー反応が起こるために生じる炎症です。アレルギー性結膜炎の内、ある特定の季節だけ症状が出るものを季節性、季節に関係なく起こるものを通年性アレルギーと言います。季節性アレルギーの主な原因は花粉で、一般に「花粉症」と呼ばれている二〜三月のスキだけでなく、夏のカモガヤ（イネ科雑草）、秋のブタクサ（キク科雑草）など、季節により様々な種類があります。通年性アレルギーの原因としてはハウスダスト（ほこり）、ダニ、カビや猫や犬の毛などが代表的です。

アレルギー性結膜炎の最も特徴的な症状はかゆみで、異物感や流涙が起こる事も

あります。また小児では結膜の炎症のため角膜に傷ができる事があり、春季カタルといってアレルギー性結膜炎の重症型です。その場合しっかりと治療しないと角膜に傷跡が残り、視力が悪くなる事もあるので注意が必要です。

アレルギー性結膜炎の治療は抗アレルギー剤やステロイド剤の点眼、春季カタルでは免疫抑制剤の点眼を使用する事もあります。ステロイド系の点眼薬を頻用すると、眼圧上昇等の副作用が起こる事があるので、眼科医の指示に従って使用して下さい。また水道水で目を洗うより、涙に近い成分の人工涙液の点眼で洗い流す方が良いとされています。

いずれにしてもアレルギーの原因物質を完全に除去する事は困難なので、毎年決まった時期にアレルギーが起こる方は、早目に治療を始めて症状を重くしない事が大切です。



人 事

◆新採用
▲寒川病院▼

看護師 日比麻里子
寒川病院勤務を命ずる
平成二十二年十二月一日

第三十二回自衛消防隊

消火技術大会優勝

去る十月十八日、第三十二回自衛消防隊消火技術大会が開催され、当社からは男女合わせて十名の職員が大会に臨み消火技術力を競いました。隊員達は訓練の成果を充分に発揮し屋内消火栓操法女子の部ではV2を達成、全員が



個人賞に輝きました。

男子も小型ポンプ操法の部で入賞を果たし、二番員で個人賞を獲得する事が出来ました。



医療講演会のご案内

と き 12月16日(木)
午後2時～3時

ところ 寒川神社 参集殿

内 容 「抗インフルエンザ薬とワクチン」

講 師 薬剤師 福 富 大 樹

入場無料 申込不要
ご来場をお待ちしております。

0467-75-6680
寒 川 病 院

十二月 手水舎奉掲

明治天皇御製

ちはやふる 神のおましを はじめにて
今年の塵を 拂はせにけり



閑日の縁にころりと種瓢たねひょう
ひと吹きに消す仏灯やそぞろ寒
煙草絶つことにも馴れて今朝の冬
七五三今日混みある無人駅
甲乙の違いわからず菊花展
早朝のまた生きの良き鯛雲
柿を売る閑所のやうに老婆をり
買めくるかそけき音やそぞろ寒
野良猫も伸び縮みして菊日和
そぞろ寒部屋やまの四隅に要らぬ釘
選外の菊を飲み屋に届けけり
藁灰に残るぬくさや冬隣
鴨の中白鷺一羽冬に入る
頬つべたに当てし両の手そぞろ寒
母方も父方もいて七五三
渡り鳥双眼鏡の点となる
柿二つ持たせて使ひの子を帰す
手のひらにこぼるるほどにむかことり
冬来る大欠伸の七十七
旨そつなシールが貼られ今年米
吊橋や紅葉隠れの今日の宿

相原 白露
露木てる子
金指 月光
四ツ車梢月
竹村真砂美
山本 朝子
菅沼 保幸
飛石 樺花
松本美智子
芹沢 徳光
根岸 君子
金子 つぢ
皆川志んこ
岩田美代子
千葉 静香
伊藤 公一
岡田風呂釜
三輪 恭子
宮入 つる
菅沼つめの
原野 楽天



表紙写真説明



今後行われる太鼓橋並周 十二月の異名に春待月がある。忙しい師走だが、忙

平成23辛卯年 厄年一覽表

性別	年齢 (かぞえ年)	前厄	本厄	後厄	性別	年齢 (かぞえ年)	前厄	本厄	後厄
男	25歳	昭和63年生	昭和62年生	昭和61年生	女	19歳	平成6年生	平成5年生	平成4年生
	42歳	昭和46年生	昭和45年生	昭和44年生		33歳	昭和55年生	昭和54年生	昭和53年生
	61歳	昭和27年生	昭和26年生	昭和25年生		37歳	昭和51年生	昭和50年生	昭和49年生

しさの先には必ず人生の春が訪れるであろう。そう考えたなら今年も来年も乗り切れると思えてきた。

迎春千支ねぶた完成



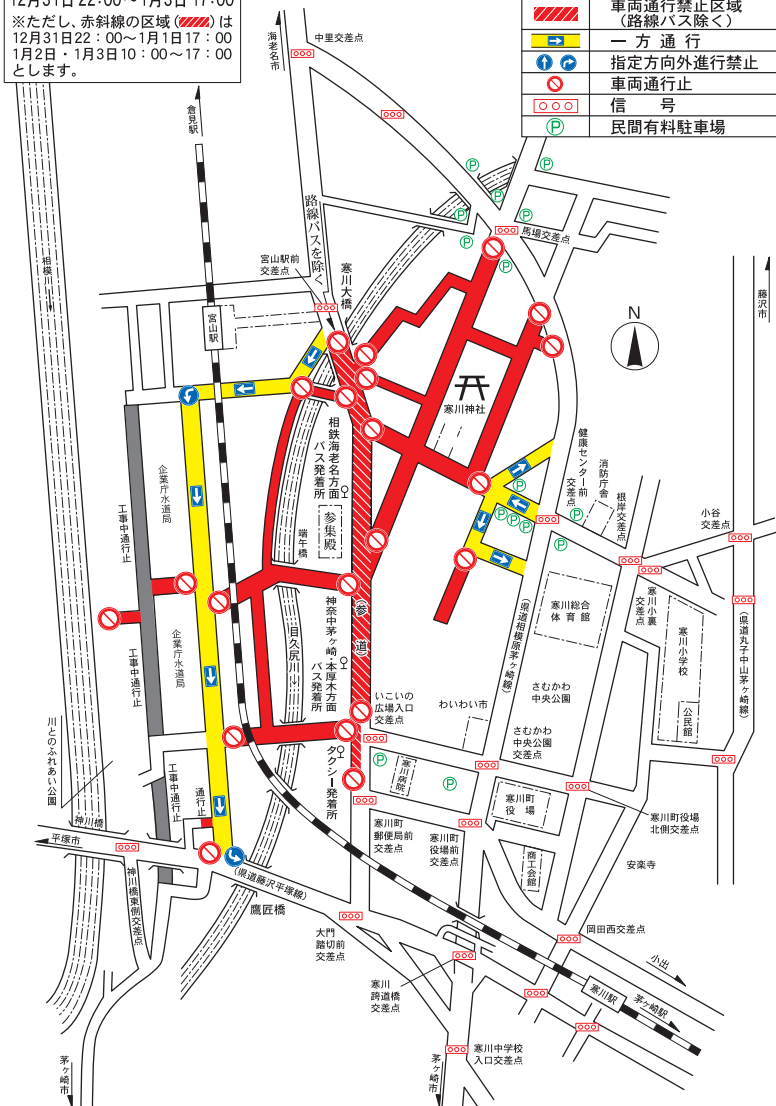
新年が良い年でありますように、との願いを込めて製作が進められておりました
 <迎春千支ねぶた>開運「月の兎とかぐや姫」が完成いたしました。12月20日神門に
 掲げられ元旦午前零時に点灯、初詣にご参拝の皆様をお迎えいたします。

● 初詣には、バス・電車をご利用下さい。(最寄駅 JR相模線宮山駅)
 ● 混雑しますので「マイカー」での乗り入れはご遠慮下さい。

規制時間
 12月31日 22:00~1月3日 17:00
 ※ただし、赤斜線の区域(////)は
 12月31日 22:00~1月1日 17:00
 1月2日・1月3日 10:00~17:00
 とします。

凡 例

	車両通行止区域
	車両通行禁止区域 (路線バス除く)
	一方通行
	指定方向外進行禁止
	車両通行止
	信号
	民間有料駐車場



平成23年
寒川神社初詣交通規制図